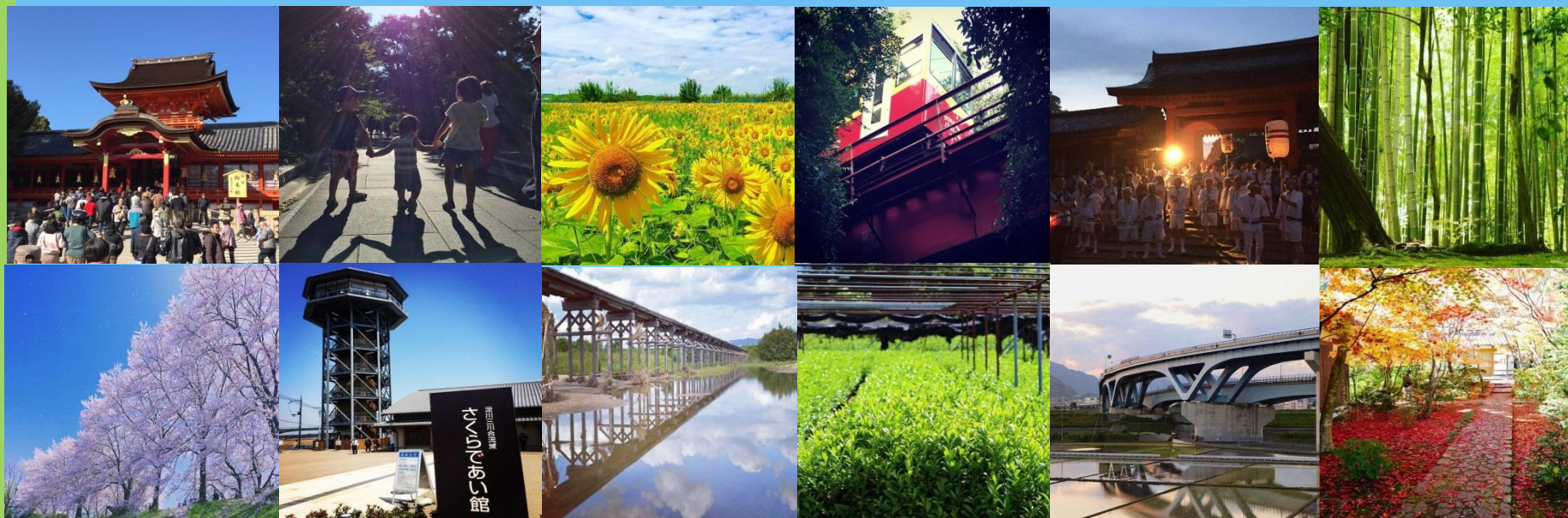




平成30年度 八幡市当初予算案の概要

「住んでよし、訪れてよし」

Smart Wellness , Smart Welcoming City Yawata





予算編成の基本的な考え方

【現状基本認識】

財政構造硬直化の進捗

(市税収入の減⇔社会保障関係経費の増(経常収支比率99.7%(5ポイント悪化))

→退職手当債の発行を開始したH20年度の水準(99.6%)

(市税収入はH20年度から約9%減、歳出規模はH20年度の1.3倍に拡大)

→庁舎整備等公的インフラの老朽化対策、社会保障関係経費の増嵩により歳入歳出バランスの維持が困難となる恐れ

【H30予算編成に際しての基本的な考え方】

- 簡素で効率的、持続可能な財政運営の構築を前提とした施策展開
- 既存事業の見直しを前提とした事業の再構築により第5次総合計画に対応

【行財政改革の取組を促進】

1. 人口オーナス期に対応した事業のスクラップ&ビルドの推進
2. 内部管理経費を中心とした歳出抑制により、庁舎整備時期への備えを実施

【新総合計画に対応した事業展開】

1. 「共生」、2. 「未来」、3. 「健幸」、
4. 「観幸」、5. 「活力」、6. 「安心・安全」をキーワードにまちづくりを推進



予算規模

事業選択の厳格化と集中投資により、限られた財源を効果的・効率的に投資

- 今後展開する大型投資事業を踏まえ、重点分野への集中投資により、歳出規模を抑制
- 国の地方創生関連予算などの特定財源を積極的に確保
- 財政調整基金の取り崩しを行わずに予算編成を実施（8年ぶり）
- 昨年度に引き続き地方債現在高を抑制

今後予想される収支不足に備え、持続可能な財政運営に留意

➤ **一般会計 242億4千万円**

(対前年度当初比 97.1%)

※地方財政計画100.3%

➤ **特別会計 149億5千万円**

➤ **事業会計 49億6千万円**

全会計合計 441億5千万円

(単位：千円、%)

会計名		平成30年度予算額	平成29年度予算額	増減率
一	一般会計	24,240,000	24,960,000	△ 2.9
特 別 会 計	休日応急診療所会計	38,500	38,400	0.3
	駐車場会計	12,600	13,400	△ 6.0
	国民健康保険会計	8,046,100	9,803,500	△ 17.9
	介護保険会計	5,254,000	5,445,000	△ 3.5
	後期高齢者医療会計	1,598,800	1,506,200	6.1
	合計	14,950,000	16,806,500	△ 11.0
	水道事業会計	2,064,336	2,292,061	△ 9.9
	下水道事業会計	2,891,086	2,997,481	△ 3.5
	総計	44,145,422	47,056,042	△ 6.2



第5次総合計画の概要

(2018-2027)

【平成30年度からのまちづくりの基本目標】

— みんなで創って好きになる健やかで心豊かに暮らせるまち —

■ともに支え合う「共生のまち やわた」

～多様な生き方を尊重し合い、共に輝きながら生きていけるまちづくり

■子どもが輝く「未来のまち やわた」

～未来を担う子どもの成長を地域で一貫してサポート

■誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

～「健康」で「幸せ」に暮らし続けられるスマートウェルネスシティの推進

■自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

～歴史と文化が織りなす「観幸／出逢いのまち」

■しなやかに発展する「活力のまち やわた」

～人・物の流れをつくる基盤の整備

■持続可能な「安心・安全のまち やわた」

～市民の生命・財産を守り、持続可能なまちづくりをさらに推進



「共生・協働のまちづくり」

多様な生き方を尊重する共生・協働社会の推進

事業費 68百万円

■共に支え合い、多様な生き方を尊重し合う、共生社会の推進

13事業 21百万円

(ex. 山城人権フェスタ・やわた男女共同参画フェスティバル開催、絆ネット構築支援、地域生活支援拠点事業、友好都市マイラン村交流 等)

■共に輝きながら、みんなで創って好きになる協働社会の推進

5事業 44百万円

(ex. コミュニティ事業、男山地域再生・地域包括ケア事業助成、「わたしたちの談話」プロジェクト 等)

■歩道のバリアフリー化等誰もが自由に気軽に歩くことができるまちづくりを推進



「子どもが輝く未来のまちづくり」

未来を担う子どもの成長を地域で一貫サポート

事業費 90百万円

■安心して出産できるよう産前・産後のサポート、子どもの発達段階に応じたきめ細やかな相談・健診の充実により育児を強化

4事業 4百万円

(ex.産前・産後ヘルパー派遣、乳幼児発達クリニック、10カ月児育児健康相談 等)

■子育て世帯やひとり親家庭への支援を充実

4事業 8百万円

(ex.子ども・子育て支援事業計画策定、子育てサークル助成 等)

■中学校給食・スタディサポートの実施など教育環境を整備

6事業 78百万円

(ex.中学校給食・スタディサポート(鳩嶺教室)実施、学校無線LAN整備 等)



「『健幸』のまちづくり」

「健康」で「幸せ」を実感。スマートウェルネスシティ推進

事業費 54百万円

- 産官学連携の市民健康づくり体制を整え、きめ細やかな健康づくりを応援
5事業 14百万円
(ex.健幸マルシェ開催、やわたヘルスプロモーション推進(健幸アンバサダー養成)、等)
- 認知症対策の本格化と在宅生活の継続支援、健康寿命の延伸を目指す
6事業 40百万円
(ex. 認知症高齢者等徘徊想定訓練、地域密着型サービス拠点整備、やわた健康ナビ作成 等)
- 国民健康保険事業経営の改善努力と広域化実施により保険料軽減を実現
国保会計の経営改善と国保広域化(都道府県単位化)に伴う国費投入により、持続可能な事業展開が可能となり、保険料負担を軽減



「『観幸』のまちづくり」

歴史と文化が織りなす「観幸／出逢いのまち やわた」

事業費 107百万円

■文化と歴史に満ちた八幡の「財産」の磨き上げ→PR発信

4事業 64百万円

(ex. 徒然草文学賞、名勝松花堂及び書院庭園保存活用計画策定、歴史文化ものがたりコンテンツPR 等)

■お茶の京都の取組をさらに進め、「お茶のある幸せの風景」を創出

6事業 19百万円

(ex. 「Chazz in YAWATA」開催、新・空中茶室イベント、八幡産てん茶普及啓発 等)

■観光資源の発信と活用を促進し、八幡観光で幸せと出逢えるよう「おもてなし環境」を整備

8事業 24百万円

(ex. 松花堂庭園・食の交流棟改修、やわた流れ橋交流プラザ・食彩棟テラス改修、八幡市駅前改修整備、男山四十八坊等観光案内の充実 等)



「活力のまち やわた」

八幡ににぎわいをもたらす新たな価値創造と基盤整備を促進

事業費 186百万円

■新たな価値創造への土台づくり

3事業 27百万円

(ex.都市計画マスタープラン改定、地籍調査・空き家調査の推進)

■新名神高速道路城陽・八幡間開通等を活かした物の流れをつくる基盤の整備、人の流れをつくる駅周辺の機能向上

6事業 143百万円

(ex.橋本駅前広場整備、府道八幡インター線等道路整備 等)

■八幡での創業・小規模企業者支援、市内消費の活性化

5事業 8百万円

(ex.融資保証料等補給等の創業支援、「まちゼミ」による商店街の活性化 等)

■収益性・生産性の高い都市近郊農業と地産地消の推進

3事業 8百万円

(ex.中学校給食への利用促進、さくらであい館農産物直売支援 等)



「安心・安全・快適なまちづくり」

市民の生命・財産を守り、持続可能で「安心・安全・快適」なまち

事業費 1,021百万円

■災害時の拠点確保、過去の災害を踏まえた備えを実施

6事業 487百万円

(ex.新庁舎整備基本設計、雨水地下貯留施設整備、ハザードマップ更新、避難所特設公衆電話設置 等)

■市民生活の安心・安全の確保

7事業 41百万円

(ex.交通安全施設整備(「ゾーン30」の設定)、街路灯LED化、学校通学路安全対策 等)

■環境に配慮した快適な暮らしの確保

6事業 493百万円

(ex.再生可能エネルギー普及促進、まちかどごみゼロ推進、上下水道施設の更新等)

■持続的な安心・安全なまちづくりを支える行財政運営

(ex.長期債の繰上償還の実施 (H29. 2月補正)、特別会計・事業会計経営健全化 等)



地方創生関連予算

「発意」と「多様性」を重視した創意工夫による地域づくり

事業費 105百万円(再掲)

【京都府広域連携事業】

■「今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進」

- ・お茶とジャズコンサートのコラボイベント(Chazz in YAWATA)の開催など、「お茶」と八幡の「財産」との融合によるオンリーワンの魅力を発信

■「移住IMO創造」

- ・男山地域再生など、「住んでよし」の八幡を創造

■「インクルーシブソサエティ(共生で賑わう社会)推進」

- ・ライフスタイルの変化に対応し、多様な主体が孤立化せず共生できるまちづくり

■「京野菜・織物リジェネレーション」

- ・地元産の「ほんまもん」の良さを再発見して、付加価値のある産品に再生

【八幡市単独事業】

■「やわたスマートウェルネスシティプロジェクト」

- ・行政、地域、学術機関、企業等が一体となって、「『健幸』のまちやわた」(＝スマートウェルネスシティやわた)を推進



行財政改革の取組

H29の取組

- **第6次行財政改革の完遂とH30以降の中期財政見通しを策定**
 - 平成27年度からの3か年計画の最終年度として、計画数値目標を完遂
(H27実績4.0億円、H28実績3.6億円、H29実績見込3.2億円)
 - 平成30年度から平成34年度までの5年間で約25億円の収支不足が発生

当初予算編成での対応

- **中期財政見通しを踏まえた行革の前倒し実施**
 - 内部管理経費を中心に歳出を抑制
(前年度当初予算比5%削減(義務的経費除く一般財源ベース))
 - 後年度の公債費負担軽減、特別会計・事業会計の経営健全化
(高利率・資金手当債の繰上償還、基準外繰出の廃止)
- **新総合計画と今後の大規模投資を前提とした事業の再構築を促進**
 - 事業採択の優先順位の厳格化、事務事業の見直しにより財源を確保
47事業 346百万円(一般財源ベース)
 - 新総合計画に対応した新規・拡充施策に充当
52事業 298百万円(一般財源ベース:156百万円)

H30の取組

➤ **第7次行財政改革計画に財源不足解消の具体策を反映**